

目指す学校像	みんなで創る 笑顔あふれる おらが地域の学校
重点目標	豊かな心の育成 確かな学力の向上 健やかな体を育む環境整備 開かれた学校 教職員の資質向上

年度目標		学校自己評価						学校運営協議会での評価	「学校運営協議会での評価」を受けて
評価項目	具体的方策	評価指標	年度評価 (令和6年1月12日現在)				達成度	次年度への課題と改善策 〔次年度へ継続する課題 ・改善していくための方向性〕	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等 (※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
			A+Bの割合		目標の達成状況				
			職員	保護者			学校運営協議会での評価		
組織運営の充実 (小中一貫の視点)	・学校教育目標(賢く 優しく 逞しく)の具現化	1	R4	100%	R4	90%	A	・学校教育目標と学年学級目標の繋がりの見える化を進めると共に、小中一貫教育の視点から小学校と協働で意図的な指導の場を増やす。 ・日課表、時間割の工夫(グラウンド、体育館等の施設や使用機器、機材の共有、委員会活動の合同実施)や、各教科年間指導計画の工夫(プール使用期間の割り振り等)を行う。 ・特別活動と人権教育を中心に、よりよい人間関係づくりを進め、さらに教育相談体制の充実を図り、生徒理解を深めていく。	「学校運営協議会での評価」を受けて
		2	100	93	89%	83%			
基礎学力の定着	・わかる授業の実践と学習習慣の定着	3	91	89	95%	79%	A	・授業でのICT機器の効果的活用や、指導と評価の一体化等の研修により、教師一人ひとりの授業力を向上させる。 ・9年間を見通した学習規律の確立、学習スタイル(授業・家庭学習)の確立ができるような小中合同での取組を行う。 ・学校行事等を見直し、授業時間数を充実させる。 ・効果的な家庭学習の取組について研究し、小中合同で共有を図る。 ・自宅学習システムと連携した家庭学習の確立を進める。	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等 (※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
		4	91	76	79%	80%			
保護者や地域との連携 (コミュニティ・スクールの視点)	・目指す学校像「みんなで創る笑顔あふれるおらが地域の学校」の具現化	5	96	94	100%	91%	A	・学校運営協議会、地域学校協働本部との連携を強化する。 ・保護者会、授業参観等への参加率を高めるようにした。 ・PTAによる秋中フェスタや資源回収、地域学校協働本部環境整備委員会による校庭の除草作業を行った。 ・小学校との施設共同利用は、昨年度の反省点を生かし、スムーズに進んだ。	「学校運営協議会での評価」を受けて
		6	96	91	100%	93%			
社会性・人間性の育成	・よりよく生きる力の育成	7	91	86	89%	82%	A	・コロナ禍にあって、不足しがちであった体験活動を充実させていく。特に、社会や大人と出会い、協働する体験を増やしていく。そのために地域・社会に生徒を出していく(返していく)。そのなかで将来の生き方を学び、考えることを通し、生きる力を育む。 ・変化の激しい社会に対応し、そのなかを逞しく生きていく生徒を育てる。 ・働き方改革の視点を持ちながら、学校行事等の教育活動を見直ししていく。	「学校運営協議会での評価」を受けて
		8	91	84	100%	90%			
安心安全な教育環境	・安心で安全な学校環境づくり	9	96	92	89%	81%	B	・学校、教室に入れない生徒が年々増えているが学校だけの問題ではなく保護者の子供への関わり方の影響も大きい。学校も多くの力を借りて、先生方の負担を軽減できればと考える。 ・プールやバリアフリー化工事を事故なく完了したこと素晴らしい。 ・これら変わっていく学校がチーム高萩中に守られているという頼もしさを感じた。 ・いじめ等のアンケート実施は早期発見に効力を発揮した。 ・指標について職員と保護者で画一的な方向性が示されている必要がある。教師の指導方針が保護者に届いていないと思われる。 ・個人情報の取り扱いには厳重な管理が必要だと感じる。不祥事があったことは残念だが、反省を生かして同じことが起きないようにつなげればよい。信頼の回復を。	「学校運営協議会での評価」を受けて
		10	91	84	89%	75%			

※達成度 : 「A」ほぼ達成(評価結果の全てが8割以上) ・「B」概ね達成(評価結果の全てが6割以上) ・「C」変化の兆し(評価結果の全てが4割以上) ・「D」不十分(評価結果の全てが4割未満)